

交通事故の現状とその対策

今回の学習内容

我が国における道路交通事故の状況を知り、具体的な事例を適宜取り上げ、事故には、車両の特性、当事者の行動や規範を守る意識、周囲の環境などが関連していることを学習しましょう。



講師
中松 滋 壇蜜 先生
(学習メモ執筆)

交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や車両の特性などを把握することや個人の適切な行動が必要です。

また、交通事故には責任や補償問題が生じることを理解しましょう。高校生は、二輪車および自動車の免許取得可能年齢となり、多くの人が近い将来、運転者として交通社会の一員となることを考慮し、加害事故を起こさない努力が必要です。

交通事故の現状とその要因

16 歳以上の 70%以上が運転免許を保有

免許取得後 ■■ 事故 ■■■ 加害者になる可能性あり (平成 27 年警察庁「運転免許統計」)
交通事故による死者数 → 年間 約 4400 人
負傷者数 → 年間 約 78 万人 (平成 25 年交通事故総合分析センター「交通統計」)

事故の特徴

- 若者……自転車・二輪車・自動車乗車中が多い
- 高齢者……歩行中が多い
- 交通事故の約半数は交差点で発生

交通事故の責任と補償

3
つ
の
責
任

刑事上の責任
罰金刑・懲役刑

民事上の責任
損害の賠償

行政上の責任
免許停止、
取り消し処分など

補償 ●自動車損害賠償責任(自賠償)保険 ●任意保険

交通事故の防止に向けて

交通事故の
3つの要因

- ①主体要因……心身の状態、規則を守る意識、危険予知能力など
- ②環境要因……天候や自然の条件、道路状況など
- ③車両要因……車両の特性、安全機能、整備状況など



安全運転を心がける！

Have a safe drive.

